

ヒートストレスを削減し、生産性を 最大化する、スマート畜舎の決定版

INTEGRATED IoT CLIMATE MANAGEMENT

エア・マネージメント・システム

ヒートストレス削減:

家畜の健康を守り、乳量低下を防ぐ。

生産性最大化:

データ管理で繁殖・増体成績を向上。

遠隔監視&操作:

スマホでどこでも牛舎環境を確認、コントロール。

最適な風量制御:

自動制御で無駄なく、電気代も節約。

IoT統合管理:

センサー、ファン、ポリマットが連携。



▲ 温調制御操作画面



▲ 環境ダッシュボード

畜産・農業の未来を支える、次世代環境モニタリング

「見えない環境」を正確にデータ化し、 最適な飼育・生産プロセスを実現します。



DD THERMO CONTROL (温調コントローラ ※1)

「データに基づく精密制御で、最適な牛舎環境を自動構築」



THI (温湿度指数) ベースのスマート制御: 温度だけでなく、家畜が実際に感じる「ヒートストレス (THI)」を基準にファンの回転数 (PWM) を無段階で自動調整します。

スマホアプリでいつでも遠隔操作: 専用アプリと連動し、離れた場所からでもリアルタイムに環境データの確認や設定変更、手動操作が可能です。

稼働状況の「見える化」: 現場で即座に状況を把握できる視認性の高い大型LEDディスプレイを搭載しています。

クラウド連携によるデータ分析: 収集した環境データは自動でクラウドに蓄積され、長期的な環境改善や生産性向上のための分析に活用できます。

SENSOR MODULE (センサーモジュール ※2)

「目に見えない空気の質を数値化し、健康リスクを未然に防ぐ」



5項目マルチセンシング: 気温・湿度に加え、畜舎内で重要となる「CO2濃度」「アンモニア (NH3) 濃度」「照度」を高精度に同時計測します。

ワイヤレス設置でレイアウト自在: 親機 (サーモコントロール) とはWi-Fi経由で通信するため、煩雑な配線工事を抑え、牛舎内の最適な計測ポイントに設置可能です。

換気不足・ガス滞留の早期発見: アンモニアやCO2の数値をリアルタイムで監視することで、呼吸器疾患のリスクを低減し、クリーンな環境維持をサポートします。

光周期のモニタリング: 照度センサーにより牛舎内の明るさを記録し、繁殖成績や乳量に影響を与える光周期 (日照時間) の管理に貢献します。

RELAY MODULE (リレーモジュール ※3)

「複数設備の連動をシンプルに束ねる、高い拡張性と操作性」



最大4系統の独立コントロール: 換気ファン、細霧冷房 (ミスト)、カーテン、照明など、最大4つの外部機器を親機からの信号で連動制御します。

ひと目でわかる動作ステータス: 前面に配置された4つのLEDインジケーターにより、どの設備が現在稼働しているか (ON/OFF) を現場で即座に視認できます。

ヒューマンエラーを防ぐ設計: 各インジケーターの横に「用途記入欄 (ホワイトスペース)」を設け、接続先の設備名を直接書き込める現場目線の親切設計です。

安心のフェイルセーフ通信機能: 通常はルーター経由で通信しますが、ネットワーク障害時にはモジュール間で直接通信を試みるバックアップ機能を備えています。

※1 温調コントローラは最大5台のファンをコントロールします。

※2 センサーモジュールは最大3台の温調コントローラまたはリレーモジュールにデータを送信します。

※3 リレーモジュールは最大4台の装置をON/OFF制御します。

ご用命は